

三九	桑原翠邦	亜字形	父天母地	五五・〇×六九・〇	軸	一九六三(昭和三八)年	個人蔵
四〇	桑原翠邦	快哉		三四・〇×六二・〇	軸	一九六四(昭和三九)年頃	個人蔵
四一	桑原翠邦	臨張玄墓誌銘		一三六・三×三三四・八	軸	一九六五(昭和四〇)年	個人蔵
四二	桑原翠邦	竹		一三七・〇×六九・〇	軸	一九八五(昭和六〇)年	個人蔵
四三	桑原翠邦	宗二王師三筆(翠邦書訣)		各二三七・五×五二・五	屏風二曲一隻		
				一九八六(昭和六一)年		北海道立函館美術館蔵	
四四	桑原翠邦	天風爽快		各二三六・三×七〇・〇	屏風二曲一隻		
				一九九一(平成三)年		帯広百年記念館蔵	
四五	桑原翠邦	群芳		一三九・二×六九・二	額	一九九一(平成三)年	釧路市立美術館蔵
					額	未詳	個人蔵
四六	桑原翠邦	亜字形	中卯				

※作品展示の順番は、会場構成の都合により作品リストの順番とは異なっています。ご了承ください。
 ※作品保護等の事情により図録に掲載されている作品で出展されないものもあります。

ギャラリートーク

四書家の魅力やエピソード、春日井との縁など、地元が書家が語ります。

期日・講師／9月7日(日)安達柏亭氏

9月13日(土)原田凍谷氏

9月23日(火・祝)武内峰敏氏

9月28日(日)中村立強氏

時間／各日午後2時より40分程度

映像でよくわかる！

現代書の夜明け

書道の変革にかけた比田井天来の生涯と、師の教えを受け継ぎ新しい表現を生んだ4人の書家を貴重な映像で。

日時／9月27日(土)

午前10時30分〜午後2時〜(上映約90分)

会場／文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

定員／先着198名(開場は15分前)

受講料／無料

永字八法体操@YouTube

楷書の基本の筆づかい「永字八法」をみんなで踊って体感しよう！YouTubeで検索！

比田井天来門下四書家の足跡を辿る

四神の書

上田 桑鳩
 手島 右卿
 金子 鷗亭
 桑原 翠邦

2014年8月30日(土)ー10月13日(月・祝)

月曜休館(祝日の場合翌日休館)
 文化フォーラム春日井・ギャラリー
 四神の書実行委員会、公益財団法人かすがい市民文化財団
 一般財団法人地域創造
 春日井市、春日井市教育委員会
 後援

番号	作家名	作品名	サイズ	制作年	所蔵先
一	上田桑鳩	愛	一三四・五×一五九・二	屏風二曲一隻	一九五一(昭和二六)年 個人蔵
二	上田桑鳩	酔醒	四六・五×六九・〇	額	一九五三(昭和二八)年頃 滝川市美術自然史館蔵
三	上田桑鳩	創	六八・〇×一〇二・〇	額	一九六〇(昭和三五)年頃 安芸市立書道美術館蔵
四	上田桑鳩	夢	四〇・四×四八・〇	軸	一九六五(昭和四〇)年頃 滝川市美術自然史館蔵
五	上田桑鳩	命	七八・五×一二九・〇	額	一九六七(昭和四二)年 滝川市美術自然史館蔵
六	上田桑鳩	臨 裴將軍詩	三〇・〇×六四八・〇	折帖	一九六七(昭和四二)年 個人蔵
七	上田桑鳩	花開時蝶来 蝶来時花開	六三・五×九〇・五	額	一九六七(昭和四二)年頃 株式会社マツ才蔵
八	上田桑鳩	鳳	一一〇・〇×一一九・〇	額	一九六八(昭和四三)年 個人蔵
九	上田桑鳩	心	五二・〇×七一・五	額	一九六八(昭和四三)年 滝川市美術自然史館蔵
一〇	上田桑鳩	筆	一一二・五×三四・二	額	一九六八(昭和四三)年 滝川市美術自然史館蔵
一一	上田桑鳩	金谷三升	三三・一×一〇一・五	額	一九五〇(昭和二五)年 菊屋蔵
一二	手島右卿	山行	七九・〇×一五〇・〇	額	一九四八(昭和二三)年 光ミュージアム蔵
一三	手島右卿	背山臨瀟	八一・〇×一五二・〇	額	一九四九(昭和二四)年 光ミュージアム蔵
一四	手島右卿	虚	一三一・〇×六八・〇	軸	一九五四(昭和二九)年 個人蔵
一五	手島右卿	一盲引衆盲	一四〇・〇×一三八・〇	屏風二曲一隻	
一六	手島右卿	崩壊	六九・〇×一四〇・〇	額	一九五六(昭和三一)年 安芸市立書道美術館蔵
一七	手島右卿	捫虱	六八・〇×一三七・〇	額	一九五七(昭和三二)年 光ミュージアム蔵
一八	手島右卿	臨罔極帖	一三九・〇×六九・〇	軸	一九五九(昭和三四)年 光ミュージアム蔵
一九	手島右卿	燕	七〇・〇×五一・〇	額	一九六〇(昭和三五)年 個人蔵
二〇	手島右卿	聲	一四〇・〇×六九・〇	額	一九七四(昭和四九)年 安芸市立書道美術館蔵
二一	手島右卿	遅	六九・〇×九六・〇	額	一九七五(昭和五〇)年 光ミュージアム蔵
二二	手島右卿	走月逆行雲	一四〇・〇×六九・三	屏風	一九六〇〜一九六五(昭和三〇〜四〇)年頃 個人蔵
二三	手島右卿	臨書	約三五・〇×二五・〇	半紙	個人蔵
二四	金子鷗亭	北原白秋詩 海雀	六七・五×一三三・五	額	一九五二(昭和二七)年 北海道立函館美術館蔵寄託(函館市蔵)
二五	金子鷗亭	北原白秋詩 白金の独楽	六六・二×一三三・七	額	一九五二(昭和二七)年 北海道立函館美術館蔵寄託(函館市蔵)
二六	金子鷗亭	小野十三郎詩 断崖	六八・〇×一三四・五	額	一九五五(昭和三〇)年 北海道立函館美術館蔵寄託(函館市蔵)
二七	金子鷗亭	山村慕鳥詩 風景―純銀もざいく(いちめんのなのはな)	三三・〇×六九・〇	額	一九五八(昭和三三)年 北海道立函館美術館蔵寄託(函館市蔵)
二八	金子鷗亭	宮澤賢治詩 作品七十五番之一 浮世絵 北上山地の春(囲炉裏)	一〇七・五×七七・〇	額	一九六四(昭和三九)年 北海道立函館美術館蔵寄託(函館市蔵)
二九	金子鷗亭	高村光太郎詩 金秤	八九・〇×一二六・〇	額	一九七六(昭和五一)年 北海道立函館美術館蔵寄託(函館市蔵)
三〇	金子鷗亭	自作句 漂渺の気流	六一・〇×一四三・〇	額	一九七八(昭和五三)年 北海道立函館美術館蔵寄託(函館市蔵)
三一	金子鷗亭	石川啄木歌二首 潮かをる／函館の	各二三八・〇×三三三・五	額	一九八一(昭和五六)年 北海道立函館美術館蔵
三二	金子鷗亭	臨書 大観帖四月五日帖	一三八・〇×三四・〇	額	一九八一〜八五(昭和五六〜六〇)年 北海道立函館美術館蔵
三三	金子鷗亭	川端文学燦文集 「雪國」より 夜の底が…	二六・五×三三三・三	額	一九八九(平成元)年 北海道立函館美術館蔵
三四	金子鷗亭	寛明	三〇・〇×九一・五	額	二〇〇一(平成一三)年 北海道立函館美術館蔵
三五	金子鷗亭	翔鸞	三二・〇×六八・〇	額	個人蔵
三六	金子鷗亭	淵穆軒	七〇・〇×二〇・〇	額	一九七九(昭和五四)年 個人蔵
三七	金子鷗亭	虚子句 彼一語我一語秋深みかも	一四・〇×三一・〇	軸	一九八六(昭和六一)年頃 個人蔵
三八	桑原翠邦	風心雲想	一三四・〇×一三六・〇	屏風二曲一隻	